

丹波古文書倶楽部会報
古文書かわら版

第9号

事務連絡（高礼場）

☆ 平成28年度総会

三月例会に引き続き開催
28年度の事業・決算報告、29年度
の事業計画・予算案の他、役員体制
についての協議も含まれ、会の最高
意思決定、並びに会員からの要望・
意見を交換する機会です。短時間
で行う予定です。是非、ご参加
ください。

☆ 四月例会

日時 4月8日(土)
午前10時～

会場 柏原住民センター
会場準備は新役員で行います。
29年度最初の例会です。新入
会員の紹介もあります。継続
会員の皆様も心機一転、古
文書の学びに向き合いた
さい。

☆ 五月例会

日時 5月13日(土)
午前10時～

会場 柏原住民センター
会場準備(敬称略)
齋木茂明、足立正春、佐中
ますみ

発行者 山口丹波守利和
編集者 延陽伯こと岸孝明
発行所 丹波古文書倶楽部

☆ 生涯学習市民活動実践グループ
シンポジウム2017「中止

古文書倶楽部会員の皆様の甚大なるご協力で参加予定者は45名を上回る規模で開催するはずでしたが、2月10日早朝より北播丹波地方に大雪警報が発令され、学校も休校措置が取られたため、丹波市市民活動課とも協議し、参加者の安全を第一に考えるべし、この川口代表の決断で中止を決定し、10日午前10時より、役員で手分けして講師パネラー、関係機関、全参加者に中止連絡をいたしました。

後日、市民活動課から見事な対応であった旨、称賛されました。

☆ お願い

中止に伴って予算化した参加料が入らない事となり、これまで支出した費用を皆様方の寄付で捻出する事しか対応策がありません。市民活動課の補助金を受けますので、作成した資料集は、市提供の情報と、補助金が含まれるため販売できません。

準備していたお茶サインペン、製本テープ等の物品を、10000円の寄付をいただいた方にお礼と

して、差し上げることをします。参加の有無を問わず寄付をお願い申し上げます。

☆ 丹波市教委文化財課より依頼
丹波市立柏原歴史民俗資料館
三二企画展 「上山家文書に見る幕末維新の丹波」

2月28日～3月20日まで
旧水上郡大新屋村・鴨野村・稲継村を領した旗本佐野家の在地代官上山治郎右衛門の幕末動乱期の丹波の様子が判る資料七点と解説が展示されています。
古文書に興味のある人は是非、見て下さいとの事です。
『上山治郎右衛門幕末用状控帳』の冊子版を手済み、読みたい方は岸孝明まで

自己紹介（口よ）

◆ 青垣町 足立 幸子 様

丹波古文書倶楽部に入会して
「古文書」を学んだ最初のきっかけは、知り合いの方より「古文の会」(青垣町)に入らへんかと誘ってもらったことからです。

当時、「吾文の会」のことは全く知りませんでしたし、「吾文書」については尚更知りません。誘ってもらっても何だか難しそ

うで私には出来そうにないと思いましたが、まあ、三回参加してみても、これはついて行けないと思えばやめればいい、とそんな軽い気持ちで始めました。

その後、柏原で「丹波古文書倶楽部」が出来たと聞いて仲間三人で入会することにしました。入会后二～三年程後で一人の方は都合で退会されましたが、私は続けることにしました。せっかくここまで習って来たのに、ここでやめてしまうと習ったことを全部忘れてしまう、もう少し習いたいと思いがあつたからです。

丹波古文書倶楽部」は想像していた以上に、私にとっては厳しい、大変なところでした。資料を名簿の順番に読まなければならぬからです。自分だけ読めないからと言ってパスするわけにはいかなかったです。

次は読む順番が廻ってくると思つと前もつての予習が欠かせません。辞書を引いたり、人に聞いたりそれでも読めない所ばかりです。

でも、順番に読まなければいけないというのは、逆に学習意欲がわきます。先生の説明も熱

心に聞きますし、集中します。読めない文字、難しい箇所など講座の中で先生が徹底して教えて下さるので、古文書倶楽部に入会してよかったですなあと感じます。

禾糸言々、など、多くの「偏」がありますが、その「くずし字」の見分け方は中々覚えられません。又、書いた人によって字体も異なり難しいです。

まずは「くずし字」に見慣れること、根気よく続けることが大切だと思います。

そのためには、自分としてやることは、当然のことながら、予習をよくすること、毎月の講座には参加して、先生の説明を聞くことだと思います。

古文書「を習いはじめてから十年近くは経ちますが、そのわりには進歩は見られませんが、一字でも多く読めるようになりたい、その思いがあるから続けているのだと思っています。

◆ 氷上町 佐中ますみ様

お化けはたのし

ただく戸におおひ啓へて迎え

られ入りしごとくに古文書ひらく

古文書は黒べろ並ぶお化け文字奇々怪々とせまりてきたる

束の間の油断の際に入り来てわが身にせまるお化けの文字

これやこのくずし字辞典見てくづらん化物だらけの文字幾万

墨筆は女王蜂に似て数知らず文字のお化けを産みだしきたる

相よりて二字合体と身を重ね化けてももとの意伝わりきたる

貧相な脳に妖怪入り込みてべらべら頭破れむばかりに

化物を追ひ出す手立てなきものか先ずは眠りて夢でも見よう

おつむより体を腕を使ふべし墨すり筆に浸ませて遊ぶ

手品師の振る手に生まれる品

タカ倭筆枝永き代を經し

ほどほどに昔のことと思ひ来しが眼からうつろこの一枚落つる

誰かこのパズル合わせの楽しさを解してくれる同志を求む

注 自己紹介を書いて戴きたと申し出たところ、かつてステップ

ワンで発表し、第二句集 月代の山」にも登載した古文書解読の楽しさ、苦しさを讀んだ句をもつて自己紹介に代えます、との事でしたが、紙面の字数からこの形になってしまいました。

随想

◆ 柏原町 川口利和 様

平成拾年四月から、丹波地域を中心に毎月一回歩き回っています。以前は鉄道会社主催のイベント等で不定期に歩いていましたが、定期的に歩き出したのはこの時からです。歩くことは自動車・電車の車窓からでは知り得ない路傍の世界や地域の神社仏閣を知ることができま

す。そこには歴史事実等の意外

な発見が含まれており、それらはひっそり佇んでいることが多いので知ることを意識しなければわかりにくいのが魅力!?

ウォーキング例会に参加することで健康管理と歴史・食等の文化を楽しむことができる一方、月一回ながら一定の距離を歩くことが自然と普段の生活からその日に向けたトレーニングを意識します。近頃の用事は車だったのが歩くこととなるのは顕著な例でしょうか。

二〇〇三〇歳の人と六〇〇七〇歳の人の筋力を比較すると、腰は五割、足は六〇七割弱くなると言われています(NHKラジオ・健康ライフから)

編集後記(金棒引き)

自己紹介記事をまだお書きいただいていない方は、左記岸孝明宛て送ってください。お願いします。

Fax 0795-721006-1 郵送

T 669-3315

丹波市柏原町大新屋367-2

イーメール t.kishi@cello.ocn.ne.jp